

# 令和7年流山市教育委員会会議第10回定例会会議録

1 日 時 令和7年10月23日（木曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時20分

2 場 所 流山市役所 301会議室

3 出席委員 教育長 吉田 瑞穂  
教育長職務代理者 宮田 義則  
委 員 羽中田 彩記子  
委 員 宮本 尚子  
委 員 勝本 正實  
委 員 上條 理恵

4 欠席委員 なし

5 傍聴者 なし

6 出席職員 教育総務部長 新倉 英之  
学校教育部長 南 晓男  
生涯学習部長 石川 博一  
学校教育部次長兼学校教育課長 郡司 美紀  
生涯学習部次長  
兼文化芸術・生涯学習課長 寺門 宏晋  
教育総務課長 横尾 伸一  
学校施設課長 横山 則之  
指導課長 高畠 佐文  
スポーツ振興課長 日向 茂人  
博物館長 北澤 滋  
いじめ防止相談対策室長 吉川 正一  
教育総務課学童クラブ運営係長 當山 久絵  
いじめ防止相談対策室主任主査 中川 貴弘

7 事務局職員 教育総務課長補佐 遠山 美保  
教育総務課庶務係長 石川 春樹  
教育総務課主任主事 右田 宏樹  
教育総務課会計年度任用職員 寺坂 真佐美

8 議案等

議案第21号 教育委員会表彰について

9 議事の内容

(開会 午前10時00分)

吉田教育長 ただいまから、令和7年流山市教育委員会会議第10回定例会を開会します。

まず、令和7年流山市教育委員会会議第9回定例会の会議録をお配りしておりますが、御意見、御指摘ございますか。

(特になし との声あり)

吉田教育長 特になしということですので、承認ということにします。  
これより議事に入ります。

議案第21号「教育委員会表彰について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。

学校教育部長 議案書1ページをお開きください。教育委員会表彰ですが、以下4名の現職の校長先生が受賞となります。提案理由は、流山市教育委員会表彰規則第3条第1項第1号に該当する者を表彰するものです。決定理由は、多年教員として勤務し、職務上の成績が特に優秀で、他の模範とするに足るためです。

吉田教育長 本案について質疑等ありましたらお願いします。

(特になし との声あり)

吉田教育長 質問がないようですので、質疑等を終了します。  
議案第21号は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(異議なし　との声あり)

吉田教育長

御異議なしと認めます。よって議案第21号は、原案のとおり可決することに決しました。

次に各課等事務連絡に移ります。指導課からお願いします。

指導課長

(第77回東葛飾地方中学校駅伝競走大会及び令和7年度葛北中学校駅伝競走大会の結果について、令和7年度全国学力・学習状況調査の分析結果について)

文化芸術・生涯学習課長

(令和7年度流山市青少年主張大会の審査結果について)

スポーツ振興課長

(第33回流山ロードレース大会のエントリー状況について)

博物館長

(令和4年度流山市市内遺跡発掘調査報告書について)

吉田教育長

以上の各課等事務連絡への質疑等がありましたらお願いします。

羽中田委員

全国学力・学習状況調査について、平均値が高いのはとても良いことと思いましたが、分布表の考察についても、どのように考察されたのか伺いたいところです。平均値だけではなかなか傾向はとらえられないのが現状ですので、例えば理解に時間を要する子どもたちがどの程度いるのかということを知りたいと思います。

指導課長

おっしゃるように、教科により上位層と下位層で二極化するような傾向になっていたり、また、前回より下位に下がってきてている教科もあるので、そのあたりも確認をしながら、上位層だけでなく下位層も無回答ではなく問題に取り組める等、そうしたことを目指していく必要があると指導課でも話しています。

羽中田委員

ICT教育に力を入れている流山市ですので、ICTについての考察はさまざまされなければならないと思いますが、少し気になったのが、資料の「ICT機器の活用」のところで「ICT機器を使用する頻度が高いほど、各教科の正答率も高くなる傾向があるため…」とあり、これを言い切ってよいの

かどうか、少し疑問を感じます。いくら使ったからといって、それが成績に反映するかというと、その相関関係はないと思います。どのような使い方をするかが問題であり、回数ではないと思いますので、このあたりもやはりきちんとした根拠を含めて考察していただきたいと思っています。

指導課長

お話をされたことはもっともだと思います。このICT機器の活用との相関関係については、全国的にもこのような関係性が見られるということで、今回は概要版の箇所で全国的な結果として出ていたところもあります。ただ、やはり単に使うことだけではなく、どのように使うか、それを使いどのように活動を深めるかというところが活用する上で大事だと思いますので、今後もそうしたところを推進していきたいと思います。

吉田教育長

学力・学習状況調査について少し補足させていただきます。膨大なデータを概要版として5枚の資料にまとめさせていただきましたが、流山市は、正答率が全国平均よりも高く、全国1位の石川県よりも正答率だけ見ると高く、千葉県内においてもトップクラスという状況ではあります。ただ、資料4ページ目を見ていただくと「読書は好き」、「新聞を読んでいる」のあたりが、令和4年度と比較すると、小学生から中学生になっていることも考えられますが、急激に数字が落ちているので、読書活動については力を入れていこうと教育委員会として考えています。また、最後のページの「主体的・対話的で深い学び」を見ていただくと、若干数字が落ちているところもあるので、このあたりも力を入れていきたいと考えています。さらに、「自己有用感や幸福感等」も、上がっているところもあれば下がっているところもありますが、中学生になり、本来であれば「(7) 将来の夢や目標」などはしっかりと持つ欲しいということは個人的には思います。このあたりも是非、中学校の取組として力を入れていきたいと思います。なお、「(12) 学校に行くのが楽しい」や「(15) 幸せな気持ちになることがよくある・ときどきある」が非常に高い傾向にあるというのは喜ばしいことです。今回、良いところと悪いところを載せさせていただき、今後どのようなところに力を入れていきたいかという分析に役立てていこうと思っています。

吉田教育長

ほかに御質問はありますか。

(特になし との声あり)

特にないようですので、各課等事務連絡についての質疑等を終了します。  
以上をもって、本日教育委員会会議に付議された案件の審議は、終了いたしました。

以上で、令和7年流山市教育委員会会議第10回定例会を終了します。

(閉会 午前10時20分)